

IBD

LETTER

アイ・ビー・ディー・レター

社会医療法人社団高野会
大腸肛門病センター高野病院
 熊本市中央区大江3丁目2番55号
 TEL.096-320-6500 FAX.096-320-6555
 【監修】炎症性腸疾患センター長 高野正太

<http://www.takano-hospital.jp>

パングラタン

【1人分あたり】



【材料】(1人分)

- | | | |
|-----------|-----------|---|
| 食パン(6枚切り) | 1枚(60g) | |
| 玉ねぎ | 20g | |
| ツナ缶 | 20g | |
| 卵 | 25g(1/2個) | |
| ブロッコリー | 40g | |
| 小麦粉 | 大さじ1 | |
| 粉末スキムミルク | 大さじ1 | ※ |
| 水 | 75ml | |
| 塩 | 少々 | |
| コンソメ | 小さじ1/2 | |
| とろけるチーズ | 10g | |
| パセリ(飾り) | 少々 | |

- 作り方 ●●●●●
- ①食パンはサイコロ状に切る。(目安は12等分)
玉ねぎは薄切りに、ブロッコリーは小房に分けて茹でておく。卵は沸騰したお湯で10分程度茹で、殻をむいてスライスする。
 - ②耐熱ボウルに小麦粉と粉末スキムミルクを入れ、そこに水を少しずつ加えながらダマができないように泡立て器でよく混ぜる。電子レンジ500wで1分加熱し塩・コンソメ・玉ねぎを入れてよく混ぜる。とろみが付くまで電子レンジで1分半加熱を1~2回繰り返す。
 - ③グラタン皿にマーガリンを薄く塗り(分量外)、食パンを敷き、②のホワイトソースを流し入れる。油を切ったツナ、スライスした茹で卵、ブロッコリーを並べる。とろけるチーズをかけ、オーブントースターでチーズが溶けるまで焼き、仕上げにパセリを振りかける。

※スキムミルクの代わりに低脂肪牛乳や豆乳(水と同量)でもおいしく作れます。



IBD料理教室のお知らせ

市民公開講座のお知らせ



2023年 12月16日(土) 14:00~15:00
 内容: リースピザ
 場所: 大腸肛門病センター高野病院 6階 ひだまり食堂
 持ち物: エプロン、筆記用具
 会費: 無料
 対象: 炎症性腸疾患の方、及びそのご家族
 申込み: 下記お申込み先までお電話ください

申込先 大腸肛門病センター高野病院 栄養科
 TEL096-320-6533(平日9:00~17:00)

2023年度 日本炎症性腸疾患学会 市民公開講座
潰瘍性大腸炎とクローン病
 -知って得する最新情報-

開催形式 WEB配信
 (オンデマンド配信)

配信期間: 2023年 12月1日(金) 10:00
 ▼
 2024年 1月31日(水) 23:59
 参加費: 無料
 申込み: 二次元コードを読み込み、申込みフォームよりお申込みください

問合せ先 2023年度 日本炎症性腸疾患学会 市民公開講座 運営事務局
 株式会社トレスベサードコンベンション
 TEL03-6280-7482

炎症性腸疾患 (IBD) の基本薬 メサラジン製剤と不耐症について

消化器内科 医師:古田 陽輝



メサラジン製剤とは

炎症性腸疾患 (IBD) は、腸管に慢性的に炎症が起こることによって、さまざまな症状や合併症が生じる病気です。治療の基本方針は、まずは活動性の炎症があればそれを鎮火する寛解導入療法を行うこと、続いてぶり返し(再燃)を起こさないように維持療法を継続することになります。近年、医療の進歩によりさまざまな新薬が増えてきていますが、その多くは免疫を抑えることで炎症を鎮静化させる薬剤です。そのためそのリスクは薬剤の種類にもよりますが、感染などの副作用が危惧されます。

メサラジン製剤は、IBDにおいて使用される最もポピュラーな薬剤です。アミノサリチル酸、5-ASAなどとも呼ばれますが、同じ薬剤を指します。



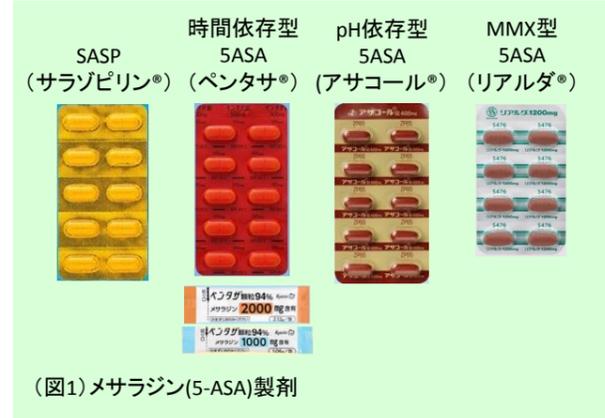
メサラジン製剤には、ペンタサ®、アサコール®、リアルダ®があり、また同様の作用効果があるサラゾピリン®も使用されることがあります(図1)。これらは全身の免疫力を低下させる作用がないため安全性が高く、長期的に内服しても副作用が少ないため重宝されます。軽症や中等症であればメサラジンのみで寛解まで至る方もあり、導入療法としての効果も高く、長期的に内服することで再燃を抑える効果もあり、維持療法としても必要な薬剤です。

メサラジンは成分が炎症のある局所に届くことで効果を発揮するため、炎症が大腸にある潰瘍性大腸炎では、内服

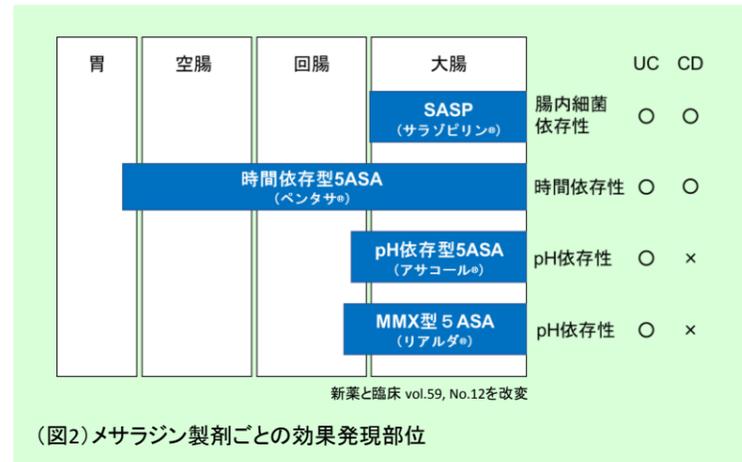
した成分が大腸に届かなければ効果が出ません。現在使用されているメサラジン製剤は製剤毎に放出の仕方が異なり、それぞれ炎症が起こっている部位へ到達しやすく設計されています(図2)。ペンタサ®は内服後すぐに溶け出さずに少しずつ長時間放出し続ける(徐放性)ため、小腸から大腸といった全消化管にまんべんなく届きます。一方、アサコール®とリアルダ®は小腸では溶け出さず、大腸に到達して溶けるような

コーティングがなされています。そのため大腸へより高用量のメサラジンが届く設計となっています。リアルダ®はアサコール®に比べさらに徐放性になっているため、より肛門側に高用量のメサラジンが到達します。

これらの薬剤は同じ用量でも薬剤の分布が異なり、治療効果が異なることがあります。しかし、「どの薬剤が最も効果が高いのか」という優劣は明らかではなく、個人の炎症の分布によって使い分ける必要があります。



(図1)メサラジン(5-ASA)製剤



(図2)メサラジン製剤ごとの効果発現部位

メサラジン不耐症について

上述で、メサラジンは長期的にも安全で重要な薬剤であることをお伝えしました。そのため、IBDと診断された患者さんのほとんどが一度は内服したことがあると思います。一方、最近このメサラジン製剤にアレルギー様の症状が出るといった副作用を呈する患者さんが少なくないことが話題になっています。これをメサラジン不耐症といいます。症状として発熱、腹痛、下痢の増悪といったIBDが悪化した様な症状が急に出現することがあります。そのため患者さん自身も医師も、薬剤の副作用なのかIBDの増悪か、判断が難しいケースも少なくありません。これらの副作用が出現しやすい時期は、内服開始後2週間後が多いのが特徴です。頻度は報告によってまちまちですが、10-15%とするものが多く、年々頻度が増加していると言われています。どうしてその様な反応が起こるのか、どの様な患者さんがこのメサラジン不耐症を呈しやすいか、何故近年増えきているのか、分かっていないことも多くあります。当院では、患者様の腸内細菌叢とこのような不耐症状の出現に関連があるのではないかと考え、臨床研究を行っています。対象患者さんにお声掛けすることもありますので、よろしければご協力いただけますと幸いです。

最後に

メサラジン製剤について概説いたしました。メサラジン製剤には上述の副作用が起こることもありますが、再燃予防の観点からも非常に重要な薬剤です。実際、これらの薬剤を内服できない、あるいはあまり服用できていない患者さんは再燃しやすく、また長期的には手術が必要になる方もいらっしゃいます。そのため自己判断による内服中断はせず、心配な場合は主治医とよく相談するようにしてください。



新たな潰瘍性大腸炎治療の選択肢

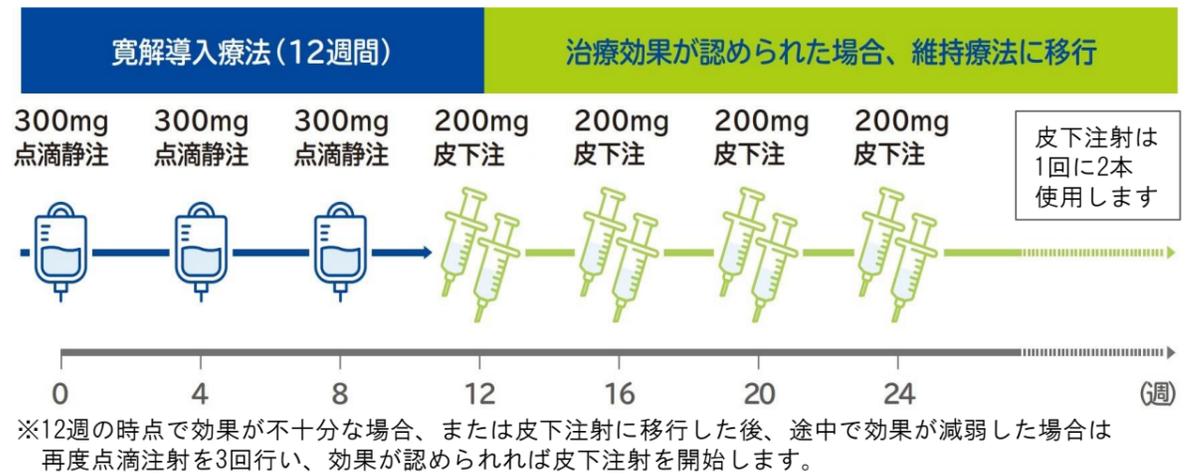
～オンボー®～

薬局: 平井 裕子

2023年6月、潰瘍性大腸炎治療の新たな生物学的製剤としてオンボー®(ミリキズマブ)が発売されました。オンボー®は1月に発売されたクローン病の治療薬スキリージ®(リサンキズマブ)と同じヒト化抗ヒトIL-23p19モノクローナル抗体製剤といわれるものです。

潰瘍性大腸炎も原因として、過剰な免疫反応が関与していると考えられています。潰瘍性大腸炎の患者さんの腸管ではインターロイキン(IL)-23などのサイトカインが多く産生されています。IL-23は免疫細胞を活性化して炎症を引き起こすサイトカインを多く作らせます。オンボー®はIL-23を選択的に阻害し、その働きを弱めることで腸管の炎症を抑え、症状を改善する薬です。対象はステロイドやアザチオプリン等の治療を行っても症状が改善しない中等症から重症の潰瘍性大腸炎の患者さんです。

オンボー®も点滴と皮下注の2種類があり、寛解導入療法として初回・4週目・8週目に点滴注射を行い、12週目で効果が認められた場合は皮下注射を4週間隔で実施します(維持療法)。主な副作用としては、アレルギー症状、かぜ症状(喉の痛み、咳等)があり、他の生物学的製剤と同様、重篤な過敏症や肺炎などの感染症に注意が必要です。治療中に体調が少しでもおかしいと感じたら、すぐに病院にご相談ください。



新型コロナワクチンとインフルエンザワクチン接種について

感染管理認定看護師 永徳 慎一郎

新型コロナワクチンとインフルエンザワクチンはどちらも感染・発症・重症化予防に効果があると報告されています。また、新型コロナワクチンは、流行株に合わせた追加接種を行うことで、追加的な重症化予防効果等が得られると報告されています。

これら2つのワクチンは同時接種が可能ですし、接種間隔についても制限はありません。ただし、インフルエンザワクチン以外のワクチンは、新型コロナワクチンと同時に接種できません。互いに、片方のワクチンを受けてから2週間後に接種できます。

新型コロナとインフルエンザは、いずれも冬場に感染が拡大する傾向があります。計画的なワクチン接種を行い、手洗いや体調管理など日常の感染予防を心がけてください。